

レポート2019

● 第44回淑楓祭

テーマ

○～つながりの輪～

10/26(土)・10/27(日)

大学



書道部によるパフォーマンス



メインステージ背景幕



多くの団体が模擬店を出展



大学祭実行委員による子ども向け教室企画



Olu Oluによるフラダンス発表



後夜祭バルーンドロップ



チアリーディング部は元気な笑顔と圧巻のパフォーマンスで観客を魅了

昨年度からはじめた学内全体を使ったクイズブザー企画には、従来のお客様参加型の企画を連動させたことにより、昨年度度

第44回淑楓祭を創るにあたって、尽力いたしました関係者の皆様、地域の皆さんなどたくさんのおアーティスト、団体の皆様に出演いただき大変盛り上がりいました。

ステージでは華やかなヘアーショーが開催されました。エ☆☆☆のさんやアイドル教室さんなどたくさんのおアーティスト、団体の皆様に出演いただき大変盛り上がりいました。

昨年度度からはじめた学内全体を使ったクイズブザー企画には、従来のお客様参加型の企画を連動させたことにより、昨年度度

度

は、チアリーディング・よさこいなど、有志団体の皆さんにご参加いただきました。

星ヶ丘キャンパス

両キャンパスの大学祭実行委員長によるレポートです。

愛され続ける淑楓祭

長久手キャンパス

淑

楓祭は第44回を迎え、今年は「○～つながりの輪～」をテーマとして開催されました。

の4倍となる400人以上のお客様に参加していただけました。

今

年の淑楓祭のテーマは「○～つながりの輪～」です。淑楓祭にかかわってくださったすべての方と1つの円のようにつながり淑楓祭を盛り上げることができました。

星ヶ丘キャンパス

大学

淑

楓祭は第44回を迎え、今年は「○～つながりの輪～」をテーマとして開催されました。

の4倍となる400人以上のお客様に参加していただけました。

今

年の淑楓祭のテーマは「○～つながりの輪～」です。淑楓祭にかかわってくださったすべての方と1つの円のようにつながり淑楓祭を盛り上げることができました。



フェアトレード商品を販売



子ども広場はご家族連れで大賑わい



多彩なメニューが提供された模擬店



後夜祭レーザーショー



よさこい探究会「鳴踊」による熱気あふれるステージ

キャンパス

● 沖縄研修旅行

11/4(月)～7(木)

中学校



おきなわワールドの玉泉洞



陸軍病院山城本部跡



ひめゆり平和祈念資料館



恩納村ニライカナイでシーカヤック体験

「沖」 縄で何を見て、何を感じ、何を学ぶのか。さまざまな試行錯誤の結果、現在の淑徳の沖縄研修旅行が成り立っています。事前学習を重ね、沖縄戦や基地問題について一定の知識を得た上で、実際に沖縄を体験します。中3という感受性豊かな時期だからこそ、得られるものも多いはずです。

今年は出発直前に琉球文化の象徴である首里城が焼失するという大変心の痛む出来事がきました。その生徒一人ひとりが沖縄に行く意義をより強く持ったように感じられました。首里城は見学できませんでしたが、沖縄県立博物館や中城城跡の見学、さまざまな文化体験を通じて独特な琉球文化を学ぶことができました。

もつとも重視している平和学習です

が、今回初めての試みとして、「ひめゆり学徒隊の足跡を巡る「平和散策」を設定しました。伊原第一外科壕のあるひめゆりの塔で、平和宣言文と千羽鶴を奉納し、ひめゆり資料館の方からひめゆり学徒隊についての講話を聞きます。その上で、伊原第一外科壕・山城本部壕を経て「ひめゆり散華の跡」である荒崎海岸まで、「死の解散命令」が出された後ひめゆり学徒隊が追い詰められていくルートを実際に歩きました。のどかなサトウキビ畑や美しい海が広がる風景の中を歩くことで、より平和の尊さを感じたことでしょう。

が、今回初めての試みとして、「ひめゆり学徒隊の足跡を巡る「平和散策」を設定しました。伊原第一外科壕のあるひめゆりの塔で、平和宣言文と千羽鶴を奉納し、ひめゆり資料館の方からひめゆり学徒隊についての講話を聞きます。その上で、伊原第一外科壕・山城本部壕を経て「ひめゆり散華の跡」である荒崎海岸まで、「死の解散命令」が出された後ひめゆり学徒隊が追い詰められていくルートを実際に歩きました。のどかなサトウキビ畑や美しい海が広がる風景の中を歩くことで、より平和の尊さを感じたことでしょう。

高等学校

● 九州研修旅行

10/28(月)～11/1(金)

高

校2年生の研修旅行は、北九州を中心に、4泊5日の日程で実施しています。

今年度は、1日目吉野ヶ里遺跡、柳川川下り、2日目南島原・雲仙、3日目長崎平和学習、4日目長崎市内の班別自由研修、そして最終日には、太宰府天満宮を訪れました。

本校の研修旅行の大きな目的に

「平和学習」があります。戦争・核の脅威について学び、平和な社会を構築するために今の私たちに何ができるかを考えます。その事前学習として、各教科の先生から様々なテーマでお話を聞いたり、戦争は人間が作った悲劇であることを静かに伝えた映画「母と暮せば」を鑑賞しました。現地長崎では、戦争遺跡の見学、下平作江さんによる被爆体験講話、爆心地慰靈祭を行い、平和な時代を後世に残すことを誓いました。

九州の特色ある文化・歴史・自然についても学びました。3年ぶりに



柳川川下り



眼鏡橋

現地の人と触れ合い・クラスの仲間や家族への感謝の気持ちなど、人の繋がりの尊さを感じ、大きく成長することのできた5日間となりました。



太宰府天満宮



爆心地・慰靈祭



原城跡にて、お話は現地ガイドさん



吉野ヶ里遺跡